

## I サービスの向上について

イ 利用促進状況を把握するため、各年度、各年度上半期・下半期ごとの数値目標を、項目ごと（会議室・多目的室の利用総件数、ヨットの出艇数、駐車場の利用台数）に設定し、設定の考え方も併せて記載してください。

## (7) 会議室・多目的室の利用総件数

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
年度目標	415 件	420 件	425 件	430 件	435 件
上半期目標	200 件	202 件	205 件	207 件	210 件
下半期目標	215 件	218 件	220 件	223 件	225 件

## &lt;設定の考え方&gt;

まず、前提として毎年増加を見込んでいます。利用増加の対象とし、地元地域の利用者と大会誘致の際の会議室利用を増やします。地元地域の利用促進は、利用ニーズを把握する事で、同様の目的の利用者を増やす為の広報活動を実施します。大会誘致について、小規模な大会でも控え室や救護室の役割で利用促進をし、大会参加者が安心して大会に出場できるように促します。

## (イ) ヨットの出艇数（出艇届受付件数）

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
年度目標	11,400 艇	11,500 艇	11,600 艇	11,700 艇	11,800 艇
上半期目標	5,600 艇	5,650 艇	5,700 艇	5,750 艇	5,800 艇
下半期目標	5,800 艇	5,850 艇	5,900 艇	5,950 艇	6,000 艇

## &lt;設定の考え方&gt;

まず、前提として毎年増加を見込んでいます。傾向として、少子化や企業の活動縮小により、利用者が少なくなりますが、定期的なヨットレースや釣りのイベントを企画し、海洋普及活動で出艇者を増加させます。その他、相模湾は年間を通してヨット、ボート、シーカヤックなどの様々な船が楽しめる日本でも有数のグレンデであり、学生のヨット活動の拠点として葉山港は、大変魅力のある港です。